

岩手県内の水稻の出穂状況（8月7日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 水稻の出穂状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

8月7日現在の県全体の出穂割合は97%（平年差+4ポイント）となっており、平年より4日早く出穂終期（90%）に達したとみられます。

表 地帯別 水稻の出穂状況（8月7日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	出穂割合（%）					出穂時期（月/日） ²⁾					
	本年	過年次同時期							平年差（日） ³⁾		
		平年	R6	R5	R4	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	96	92	95	97	81	7/28	7/31	8/3	-3	-4	-5
北上川下流	98	94	99	99	82	7/27	8/1	8/4	-4	-2	-3
東 部	91	87	94	96	76	7/27	8/1	(8/7)	-4	-3	(-2)
北 部	99	89	98	98	88	7/26	7/28	7/31	-6	-7	-9
県 全 体 ¹⁾	97	93	98	98	82	7/27	8/1	(8/4)	-4	-2	(-4)

1) 県全体…地帯別の水稻作付面積比による加重平均。
2) 出穂時期…始期：10%、盛期：50%、終期：90% の水田で出穂した日。（ ）内は終期未到達の市町村を含むため推定値。
3) 平 年…平成27年～令和6年の10ヵ年の平均値。

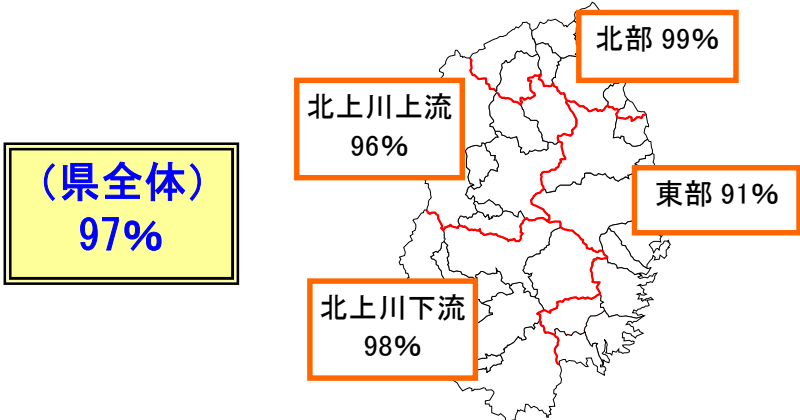


図 水稻の地帯別出穂割合（8月7日現在、各農業改良普及センター調べ）

2 当面の技術対策

高温や少雨・渇水による登熟不良や品質低下を防ぐため、水管理や防除等を徹底します。

- (1) 水管理
登熟前半は高温が予想されるため、十分なかんがい水を確保できない場合は、少雨・渇水対策として土壌を湿潤状態に保つ管理を行うなど、地域のかんがい水の状況に応じた水管理を徹底します。
- (2) 穂いもち防除
ほ場を観察し、上位葉に葉いもちの発生がみられる場合は、茎葉散布を実施します。
- (3) 斑点米カメムシ防除
斑点米カメムシの発生量は「多」の見込みです^{1), 2)}。
穂揃期の1週間後の薬剤防除を徹底します。なお、地域一斉に防除すると効果が高まります。
- (4) 適期刈取りの準備
高温により刈取り時期が早まることが予想されますので、適期刈取りに向けた準備を進めます。

参考 1) 令和7年度農作物病害虫発生予察情報 発生予察 第5号（8月予報）（岩手県病害虫防除所 2025. 7. 31）
2) 令和7年度病害虫発生予察情報 注意報第7号（岩手県病害虫防除所 2025. 7. 28）